日野 多摩 稲城 地区 保護司会だより 第71号

多摩分区長（副会長）就任のごあいさつ

多摩分区長　**川 井 博 之**

今年から前任の青木分区長の後を引き継ぎ、多摩分区の分区長をさせていただくことになりました。身の引き締まる思いです。微力ではございますが初心を忘れずに更生保護活動に向き合って参りたいと思います。

平成22年に保護司に委嘱されて13年になります。

この間、分区、部会、環境調整、面接など、観察官、多くの先輩保護司の方々のご指導を受けながら、今日まで参りました。

また、面接では、保護司の立場でいろいろな環境下に置かれた対象者との接し方、再犯防止の難しさを痛感いたします。

新型コロナウィルス感染症の法上の位置付けが２類から５類に移行され、コロナ前の活動に戻って参りました。研修などの活動も活発になっております。

社会を明るくする運動も４年ぶりに社明推進委員会を開催し、７月７日には多摩市内３駅（聖蹟桜ヶ丘駅・永山駅・多摩センター駅）で「社会を明るくする運動」街頭啓発活動に多くの方々の参加をいただき、無事終えることができました。

また、分区のこれからの課題としては、年々減少していく保護司の人材確保、再犯防止など多々あります。

「雨垂れ石を穿つ」という言葉のように、小さな努力でも根気よく保護司会の活動を続けていきたいと思います。

先輩保護司の方、分区役員、分区委員の皆様と力を合わせて頑張っていきたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

―― 令和5 年度 ――

第73回

「社会を明るくする運動」

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

活動報告

日野分区

日野市では、市長を委員長とした推進委員会を設置し、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支援する地域のチカラ」を重点目標に様々なPR活動を行いました。

(1) 街頭広報活動

当地区保護司を中心に、更生保護女性会、各中学校の生徒、先生方、日野警察署、関係機関の方々のご協力、ご参加をいただき７月８日(土) 市内３ヶ所(日野駅・高幡不動駅・豊田イオンモール広場)において、通行する方々に社会を明るくする運動のPRグッズを配布しながら、犯罪や非行のない社会を目指していくことへの協力を呼びかけました。

(2) 市内中学２年生を対象とした更生保護に関する授業

中学２年生を対象に保護司の役割、少年犯罪の実態、保護観察の仕組みなど更生保護について説明し、犯罪予防について考えてもらいました。

(3) パネル展示会

更生保護、社会を明るくする運動について紹介する「パネル展示」を７月18日(火)～28日(金) 市役所１階市民ホールにおいて実施しました。

(4) 社会を明るくする運動作文コンテスト

次代を担う小中学生の皆さんに（日常の生活や学校生活の中で体験したことをもとに犯罪や非行のない地域社会がテーマ）作文の応募を広く呼びかけました。

応募作品数は小学生119編(第五小・第六小・潤徳小) 中学生162編(第二中・三沢中) でした。

今後も日野分区のチームワーク、機動力を発揮し地域の皆様と共に社会を明るくする運動を実施していきたいと思います。

多 摩 分 区

今年の社会を明るくする運動の街頭啓発活動は、４年ぶりに社明推進委員会を委員長の阿部裕行多摩市長をはじめ多くの他団体の方、並びに関係者の方にご参加頂き開催、７月７日にメイン会場を聖蹟桜ヶ丘駅として永山駅・多摩センター駅の３駅街頭で「生きづらさを　生きていく」の啓発用ポケットティッシュを通行される方々に配布いたしました。また、社会を明るくする運動の強調月間の７月中は、３駅に横断幕を設置し、多摩市役所庁舎には懸垂幕、１階ロビーには幟旗を掲げて啓発活動を行いました。

中学校では４校の２年生を対象に保護司が講師となって社会を明るくする運動の出前授業をさせて頂きました。併せて多摩市全中学校の２年生の皆さんに「社会を明るくする運動について」の作文をお願いし、応募総数が713通ありました。出前授業、作文に対して学校のご協力に感謝しております。

社会を明るくする運動の街頭啓発活動を行うことで、地域の方々に保護司の更生活動を理解して頂き、犯罪をなくし、住みよい社会を築くことに少しでも周知できたかと思います。

皆様のご協力に対し、感謝申し上げます。

稲 城 分 区

稲城分区の社明運動は、南武線３駅と京王線３駅、そしてバス停「平尾」を含めた７ヶ所で一斉に行う啓発活動ですが、今回は７月１日が土曜日の為、初めて７月３日（月）の実施となりました。

また、コロナ感染防止の為自粛していた市内中学生の参加が４年振りに復活し、中学生の参加は107名、他に更女や民生委員、自治会、青少育、社協等22団体の協力の下、合計で274人の参加となりました。

当日は天候にも恵まれ、青パト車２台に高橋市長、石田副市長、杉本教育長と松浦分区長、井上更女分区長、粟井顧問が稲城市のイメージキャラクター「稲城なしのすけ」共々各地区の激励に回られ、中学生達と記念写真に収まっていました。

また、市内各地区で行われる夏祭りやジャイアンツ球場でもウェットティッシュを配布し大変喜ばれました。

令和5年度 第6ブロック保護司組織運営連絡協議会 報告

10月18日（水）多摩市立関戸公民館８階ヴィータホールに於いて、第６ブロック保護司組織運営連絡協議会が開催されました。第６ブロックは４地区で構成されており、今年度の開催当番地区は日野・多摩・稲城地区で、西多摩地区・八王子地区・町田地区・来賓参列者を含めて参加者は87名でした。

大須賀良子副会長の司会で始まり、川井副会長の開会の辞、土方三男会長の挨拶と続き、来賓の生駒貴弘東京保護観察所所長、松本眞由美東京都保護司会連合会（以下東保連）会長よりご挨拶をいただきました。また大竹通夫東保連副会長から趣旨説明がされ、今年度の協議題「保護司の育成について」、副題の項目を １．新人保護司の育成、２．経験・知識の継承、３．研修の在り方として協議が行われました。

大須賀副会長を座長に、途中休憩をはさみながら、４地区からの意見発表と質疑応答を順次行い、続いて『全体協議』として関連する事項や発表に盛り込めなかった事項について意見交換がなされました。

各地区のそれぞれの課題や対応策などが披露され、質疑応答と共に充実した内容となりました。それぞれの地区が抱えている問題や悩みなど共感できる点も多く、当地区が喫緊の課題として取り組まなければならないことを再認識する機会となりました。

その後、協議内容について生駒東京保護観察所長、土公千鶴立川支部長、松本東保連会長より講評をいただき、さらに東保連の大竹副会長、野崎重弥副会長、小山典子副会長から感想を述べていただきました。次に次年度当番地区の西多摩地区保護司会原島悟会長からご挨拶があり、最後に松浦昇副会長の閉会の辞により終了しました。

国連アジア極東犯罪防止研修所 ……視察研修報告……

６月15日。この日14時から、サポートセンター高幡台において、国連アジア極東犯罪防止研修所の「視察研修」が開催された。開催に先立ち諸準備のため、12時頃に土方会長はじめ企画調整保護司及び応援の多摩分区熊谷会員がサポートセンターに集まってきた。そして、会員は皆一様に研修生歓迎の看板に目を奪われた。中村会員が作成してくれたものだが、正面入口・共用室・事務室などにホスピタリティ溢れる看板が設置されていたからだ。研修生はフィリピンとマレーシアの政府職員14名。13時半過ぎにマイクロバスで到着した。バスが構内乗り入れ禁止のため坂下まで迎えに出た。あいにくの雨模様のため、全員で傘を差しだして会場まで案内した。

14時から「共用室」にて研修開始。土方会長の挨拶の後、ＴＶモニターを使って髙木センター長がサポートセンター概要・地区保護司会活動概要を説明した。その後、２班に分かれてサポートセンターの施設の見学を行った。コーヒーブレイクでは用意した「高幡饅頭」をふるまったり、社明グッズ（うちわ）をプレゼントし好評だった。最後に質疑応答の時間を設け、どんな質問が飛んでくるか予想がつかないので皆ドキドキしていたが質問は適切・現実的なものだった。次から次に手が挙がり盛り上がったが区切りあるところで打ち切りとした。

お別れに玄関の前で記念写真を撮り、全員でバスを見送った。

令和５年度　管内少年非行の傾向

日野警察署 少年係長　**松浦　宏**

日野・多摩・稲城地区保護司会の皆様方には、平素から少年の健全育成活動を含めた各種活動に、ご理解とご支援を賜り、御礼を申し上げます。

本年８月末現在の日野警察署管内における非行少年の検挙人員は24名であり、前年同期比では同数程度で推移しております。補導した不良行為少年につきましては83名で、前年同期比では減少傾向となっております。

現在、少年が「闇バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが大きな社会問題となっております。日野警察署におきましても、闇バイトへの応募から特殊詐欺に手を染めてしまった少年を検挙しております。一度でも犯行に加担した少年は、応募時の家族などの個人情報を基に脅されて、犯行グループから抜け出すことができなくなってしまいます。

少年をこのような卑劣な犯罪に加担させないため、非行防止教室等において、安易にこれらの犯罪に手を染める行為が、自らの将来にいかに取り返しのつかない影響を及ぼすのか、実例を交えて教え諭すなどの活動を推進しております。

今後とも、保護司会の皆様と連携し、少年の健全育成に尽力させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

多摩中央警察署 少年１係長　**村田 由美**

日野・多摩・稲城地区保護司会の皆様には、日頃より警察業務に深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

多摩中央警察署管内の少年非行の傾向について令和５年８月末現在の暫定値をお伝え致します。

非行少年の検挙人員は40人、内訳は犯罪少年が28人、触法少年が12人、昨年と比較すると７名増加しています。罪種別で最も多いのは窃盗となっていますが、本年は特殊詐欺や集団による暴行、SNSを利用した犯罪など、多種多様な事件が発生しています。中でも簡単に高額のアルバイトが出来るという誘い文句の「闇バイト」は、若者の将来を壊しかねない悪質なサイトです。少年は自己の興味や欲求を優先して犯行に及ぶ傾向にあり、事の重大性や危険性に考えが及ばないまま行動し、犯罪に巻き込まれる傾向もあります。当署では少年が加害者にも被害者にもならないよう啓発をすることが重要だと考え、パトロールや非行防止教室等を行い学校と連携を図り活動しています。

自分の居場所を見出せず、非行や不良行為を繰り返す少年らが非行防止活動等を通じて立ち直り、将来に希望を持てるよう保護司の皆様のご指導を頂きながら、少年の健全育成に最善を尽くして参ります。

３市職員との意見交換会　報告

７月27日、３市との意見交換会が３市職員10名、保護司７名、観察所１名の18名の出席でサポートセンター高幡台にて開催されました。

先ず初めに、東京保護観察所立川支部土公支部長より「更生保護について」のご講義を頂きました。テーマは、『犯罪情勢の変化と再犯防止・息の長い社会復帰支援の推進とは・これからの更生保護が目指すもの』についての講義でした。

報告事項として、当会会計より助成金の受領について、サポートセンター事務所貸付料の支払いについての報告がありました。また、総務部長より多摩市・稲城市からのコピー用紙受領について、サポートセンター利用状況について、国連アジア極東犯罪防止研修所の研修等の報告がありました。各分区長からは、第73回社会を明るくする運動についての報告が各々ありました。

毎年行われている意見交換会ですが、綿密な情報共有がなされる大変有意義な場となりました。

更生保護女性会　活動報告

日野分区　分区長　志田千代子

少しづつ活動が復活し、会員の方々と会い活動出来ることを嬉しく思います。

社会を明るくする運動では、３駅とも「中学生の動きや声かけが素晴らしかった。」と聞き引率の先生方に感謝いたします。

子育て支援　この夏は近場でのキャンプが復活し小学生の元気いっぱいの動きと笑顔に感動しました。

〈紫翠苑訪問〉

新築された館内を案内して頂き、苑生の方々の日常をお聞きしました。

苑生の皆様が社会へ出発されて、おだやかな生活が長く続きますよう願っております。

多摩分区　分区長　野原　瑞子

今年度の総会は、来賓に立川保護観察所・連盟・保護司会・３市（日野・多摩・稲城）担当者各２名を迎え開催、関係機関との連携が一層深まる想いでした。「第73回社会を明るくする運動」７月７日３駅（聖蹟桜ヶ丘・永山・多摩センター）の街頭啓発活動はコロナ禍が５類になり、諸団体の多数参加者を得ての開催になりました。又保護司の出前授業も４校に増え、更女も２校に参加、保護司作成ＤＶＤ「更生保護とは」の上映の後、子供たちと活発な意見交換も有り、作文応募者にはタオルグッズを配布すると伝えることが出来ました。６月分区会で約700個作成し、９月分区会は社明活動の現状（移り変わり）を知るにはと、保護司作成「ＤＶＤ」上映、追加のタオルグッズ約200個作成になりました。10月研修部の施設見学、11月第６ブロック研修会と参加行事が続きます。恒例のパネル展示は、12月６日～17日関戸公民館展示会場です。12月分区会（バザー）、令和６年新年会・分区会予定と通常の活動が戻ってきました。

稲城分区　分区長　井上美代子

コロナの影響が残っている今年の４月の分区会では、地域の駐在さんより、地域の犯罪や現状についてお聞きし、詐欺や交通安全についての講話は、私たちの理解を深めました。

社明運動では、各駅頭・バス停・よみうりランドでウェットティッシュと薬物の標語入りのティッシュペーパーを配布しました。地域の夏祭りや盆踊りでも配布をしました。

今回のウェットティッシュは、好評で何処の配布場所でも快く受け取ってくれました。

また、市内15カ所の学童クラブにホゴちゃんの塗り絵を配布して、夏休みに子供達に楽しんでもらいました。

下校時の見守り活動では、安全の為だけではなく、挨拶運動も兼ねて行います。11年間続く市の青パトで、市内全域を犯罪の無い安心安全な街づくりを目指して防犯パトロールでの呼びかけもしています。地域教育懇談会は、今年は、更生保護女性会が担当なので、発表の準備をしています。

更生保護女性会との情報交換会 報告

７月26日（水）の猛暑の中９時30分からサポートセンター髙幡台共用室で保護司会からは会長・３副会長他11名、更生保護女性会からは会長・３副会長他10名が出席しました。全員が自己紹介をし、保護司会・更生保護女性会から、本年度事業概要の説明がありました。その後、報告事項として、保護司会から、コピー用紙、助成金、保護司会だよりのお渡しについて等の報告があり、「更生保護女性会のしおり」をサポートセンターに常時設置しておいて欲しいと要望がありました。更女からは、紫翠園・くにたち安立等への衣類等の寄付活動を実施しており、是非とも保護司会からも協力をお願いしたいとありました。最後に、更女から吉本興業とのコラボで関戸会長出演の『話を聞いて更女さん』をプロジェクター持参での上映がありました。今回の交換会は、今まで以上に保護司会・更女への理解も深まり、和やかに終了しました。

（地域活動部）

BBS会 紫翠苑視察 報告

日野多摩稲城BBS会支援事務局　**松本ちづ子**

昨年度発足した日野多摩稲城BBS会の会員から施設見学の希望があったため、８月10日、保護司３名が同行し、会員３名と八王子市にある更生保護施設「紫翠苑」を訪問しました。真田安浩施設長より、参観資料を基に、女子少年を引き受けて生活させ、少年たちの気持ちに寄り添い励ましながら自立につなげていく更生保護施設としての役割等のお話しを伺い、リニューアルした施設内を案内していただきました。明るく開放的で、温かみのある女性らしいこの施設で暮らし、一日も早く更生できることを願いました。

BBS会員からは、「訪問したことで、他のBBS会の活動を具体的に知ることができ、今後の自分たちの活動の刺激となり、参考になりました」との感想が寄せられました。

BBSの若い人たちには、活動を通して、良い経験を積んでいただきたいと思います。

退任保護司のご挨拶

退任：令和５年９月16日

粟井　洋子（稲城分区）

任命：平成９年９月17日
（在任：26年）
令和元年度～４年度　地区会長

このたび令和５年９月16日をもちまして保護司としての任期が満了となりました。平成９年に拝命以来波乱に富んだ歳月でしたが、諸先輩方や僚友、保護観察所の皆様を始め、志を共にする皆様に多大なるお力添えを賜り、毎年大過なく着実に歩むことができました。すばらしい仲間に恵まれた幸福と、26年にわたり更生保護に携われた幸福に、改めて感謝したいと存じます。皆様、本当にありがとうございました。

中村　洋一（多摩分区）

任命：平成17年９月17日
（在任：18年）
平成27年度～28年度　多摩分区長

「思い出に残る保護司会活動」

18年間の保護司活動が終了した。最も印象に残っている活動を記す。サポートセンター百草台の設置です。開設業務から携わり、10年間、業務を担当した。開設２年目に名誉ある瀬戸山賞を受賞した。センターの設置は、各分区・各専門部の連携を強化し、地区保護司会の活動が、円滑かつ充実していることを強く実感しました。

鹿島　正二（稲城分区）

任命：平成21年９月17日
（在任：14年）
令和元年度～４年度　稲城分区長

平成21年９月保護司の拝命を受け、今年９月に退任いたしました。

この14年間、関係機関の皆様方、地区保護司会の皆様方には大変お世話になり、心より感謝しております。保護司会活動を通しての交流が今も役立っております。ありがとうございました。

これからの皆様の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

新任保護司ご挨拶　ご活躍を期待します

令和５年９月17日委嘱

多摩分区 **北野（きたの）　勝（まさる）**（地活部）

はじめまして、北野勝と申します。私は大阪生まれですが、多摩市に住み16年となります。昨年の定年退職を機に地域に貢献できることはないかと考えていた中で、地域の保護司の方のお話をお聞きする機会がありました。保護司制度については知っていましたが、実際の活動内容についてのお話をお聞きし初めて深く知ることになりました。更生保護を地域で支えるというとても大切な役割をこれまでの社会経験を活かしながら少しでもお手伝いすることができればと考え、ご推薦をお願いし９月17日付けで委嘱を受けました。

すでにご活躍されている諸先輩方のご指導ご鞭撻を頂きながら、精一杯頑張りたいと考えていますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和５年９月17日委嘱

稲城分区 **中溝（なかみぞ）　朋子（ともこ）**（広報部）

９月17日付で委嘱いただきました稲城分区の中溝朋子と申します。大学卒業後は中高一貫校で教員をし、青年海外協力隊に参加した後は、主に地方の大学で留学生に日本語を教えてまいりました。先日、初めての研修会に参加し、対象者に寄り添うことや地元との繋がりの大切さなどを学びました。活動の内容もですが、稲城で育ったとはいえ長年地元を離れていた私に務まるのかとても不安になりました。しかし改めて活動の重要性を実感し、お役に立てるよう頑張りたいと思いました。研修会にもできるだけ参加し勉強してまいりたいと存じますので、ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

保護司 一言リレー

多摩分区 **持田 幸子**

先輩に誘われて「大人のぬり絵サークル」に入って10年弱。花や風景等自分の好きな原画に色を重ねて仕上げていきます。陰影など複雑な色が絡み合っている奥深さが魅力でもあり難しさです。今、アレンジの花編（河出書房新社）に取り組んでいます。色を選んで指先を動かすことやぬり絵を通した仲間との会話によって脳の活性化にも役立ちます。

また、講師は「相手の長所を見つけて、共感し、褒めて、達成感を抱かせる」というコーチング要素が強いもの、と話しています。

こんな風に、保護観察ができたらいいなと考えています。

■サポートセンター高幡台
〒191-0042
日野市程久保550番地
電話 042-593-0950　FAX 042-506-5474
メールアドレス：vpocentormog@true.ocn.ne.jp

表紙写真の説明

― 人と本をつなぐパーク・ライブラリー　多摩市立中央図書館 ―

図書館本館に代わって、令和５年７月、多摩中央公園内にオープンした新しい図書館です。

多摩市の「知の地域創造」の拠点として、多摩センター地域へのサービスとともに、多摩市の図書館の中心的な役割も担います。

１階は落ち着いた雰囲気の中に約10万冊（令和５年10月時点）の蔵書と広めの閲覧デスクを多く備えた読書や調べものに最適なフロアです。２階は暮らしに身近なテーマの本と子ども向けの本を中心に、多様な学習スペースとカフェもあり、明るい広場のようなフロアです。

是非、ご利用ください。

編集後記

11月３日は日野市の市政施行60周年のお祝いの一日でした。姉妹都市のカリフォルニア州レッドランズ市から市長ご夫妻をお招きして記念式典が挙行されました。行政主導で日野市の歴史を振り返るパネル展示や地域PR動画・マップの公開が行われました。

高齢化で保護司の担い手不足が喫緊の課題です。市職員が保護司を担う制度を構築する時が来たのではないでしょうか。　（谷和彦）